

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立松山北高等学校中島分校  
学校番号 ( 22 )

評価実施日		令和2年2月10日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
	勝田 昇口	元中島町教育委員会教育長	
	田口 栄子	福祉介護事業経営	
	山本 祥平	自営業(農業)、元中島町消防団長	
	萩野 雅久	松山市立中島中学校長	
	田中 裕次	P T A会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 令和元年度「数値目標」達成状況について</p> <p>(1) 進学及び就職の目標達成率100% 今年度は、進学においては国公立大学の合格者はいないが、地元の松山大に2名合格している。また、就職においても全ての生徒の就職先が決まっている。進学と就職ともに、きめ細かな指導の成果であると考えられる。中学生は、進学面でも中島分校の少人数指導に期待している。</p> <p>(2) 年間出席率95%以上 2年生は91.2%、3年生は98.8%の出席率であった。1年生の年間出席率は80.6%で、2・3年生に比べると特に低くなっている。また、1学年の在籍生徒数の減少は、1年生の約72%の生徒が中学時代に不登校傾向にあったことを考えると、納得できる。</p> <p>(3) 家庭学習1日2時間以上 全体では1.8時間であり目標を達成できていない。特に1年生が1.5時間であり、学習習慣が身に付いていない生徒が多数おり、個に応じた指導の仕方を工夫する必要がある。</p> <p>(4) 全商検定において、3級以上の取得率の取得率90%以上 2年生は3級以上92.3%、3年生は2級以上100%を達成しており、今後は、更に上級の資格取得に向けて努力を続けてほしい。</p> <p>(5) 地域での奉仕活動年間8回以上 校内の活動を除いても年間10回以上の奉仕活動を実施するなど、地域の活性化のために積極的な活動ができており評価できる。地元住民からの評判もよい。</p> <p>2 今年度の最終評価について 生徒及び保護者の学校評価が昨年度より上がっている。また、島外から船で通学している生徒が多いが、船内でのマナーがよく、他の乗船客の評判も良い。推薦入学者選抜では15年ぶりに1倍を超えるなど、中島分校を志望している生徒が増加していると聞いたが、今後とも、中島分校の存続を図ってほしい。</p>	<p>・少人数のメリットを生かし、生徒一人ひとりに寄り添った進路指導を実践することにより、成果がでている。 ・今後は、更に丁寧な進路指導を計画し、生徒の勤労観や職業観を育成し、進路実現を図っていききたい。特に、大学入試改革に備え、国公立大学に合格できるように校内での体制づくりを強化したい。</p> <p>・今後とも生徒一人ひとりの様子をしっかりと観察し、生徒を指導していききたい。 ・中学時代に不登校傾向の生徒が、年々増加しており、学校全体での共通理解を図り、指導方法や指導体制の工夫改善に努めたい。</p> <p>・生徒一人ひとりの個性・能力を把握しそれに応じた学習指導を徹底していききたい。 ・支援員を配置するなど、さらに、特別な配慮を要する生徒の指導体制の充実を図っていききたい。</p> <p>・資格試験や検定試験の合格を目指し、引き続き指導の工夫と改善に努めたい。また、今後、更に目標を高く設定していききたい。</p> <p>・昨年度に引き続き、えひめ県民祭に参加し販売した中島のみかんの売上金を義援金としてJAえひめ中央に贈呈した。 ・地域の魅力発信高校生サイクリング推進事業推進リーダー校として、地域の魅力を積極的に発信していききたい。</p> <p>・本校は島しょ部にあり、少子高齢化・過疎化が高度に進んでいる中島地域に高等学校が存在する意義は大変大きいものがある。今年度から全国募集も開始となったが、今後も全力を挙げて、中島分校の存続のため、努力していききたい。</p>